

わたしたちの街に新しい発見

ふ♡れ♡あ♡い

いかた

2月号

No.10
平成18年
2月1日発行

生涯学習だより

発行■伊方町教育委員会 編集■生涯学習課 印刷■(株)豊予社



2006年1月8日(日)暖かい天候に恵まれ、伊方健康マラソン大会が町見体育館をスタート地点として開催されました。上位入賞を目指す者、マイペースで完走を目指す者、目標はそれぞれでしたが全参加者(98名)が見事完走し、心地よい汗を流しました。

今月の主な紙面

- 平成18年伊方町成人式
- 生涯学習センターだより
- 人権フェスタ2006“いかた”のご案内
- 町見郷土館から
- 佐田岬民俗ノート
- 陶芸教室募集のお知らせ
- 図書館だより
- 公民館だより
- 人権学習シリーズ
- 学校通信
- 子ども放送局
- 伊方スポセンだより
- 広報 文芸

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

2月のテーマ

“明るい郷土をつくろう”

(実践方法)

- 郷土の史跡探訪、文化財めぐりなどを行って、家や郷土の歴史や文化について話し合おう。
- 郷土芸能や文化の伝承活動に参加しよう。

祝 伊方町成人式

～122名が出席し新たな門出～



大人になったことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を祝い励まそうと1月3日、伊方町生涯学習センターにおいて、「平成18年伊方町成人式」が開催されました。

今年の新成人該当者は176名で内、男性57名、女性65名、計122名が出席し、式典や記念行事で新成人の門出を祝いました。

式典では新成人全員が二十歳になっての抱負等の発表があり、「二十歳になった自覚として年金を納めたい」「就職活動を頑張りたい」「単位を落とさないよう勉学に励みたい」等、決意を新たにしました。



新成人代表 小林未希さん

煙中町長からは、「昨年4月1日に、佐田岬半島に位置する伊方、瀬戸、三崎の3町が互いに手を携え、新伊方町として、スタートしました。町民一人ひとりがキラリと光る町づくりを目標に全力で取り組んでいます。皆さんは、これからの社会生活において多くの人達と接することになります。お互いの価値観を認め合い、大人としての自覚を持って行動していただきたい、そして、自らの目標に向かって



二十歳の主張 寺坂 翔さん

て努力を重ね、心豊かな人生を歩んで下さい。」と励ましの言葉をいただきました。

高門県議会議員をはじめ来賓の方からお祝いの言葉をいただき、新成人は神妙な表情で聞き入っていました。又、新成人を代表して小林未希さん(加周)がお礼の言葉を、寺坂翔さん(松)が二十歳の主張の発表を行いました。

式典終了後は、茶話会を開催、同級生との久しぶりの再会に沸き、懇親を深めました。



自己紹介



人権フェスタ2006“いかた”のご案内 ～守ろう、語ろう 身近にある私達の人権～



- 講演 中学校教諭 清原隆宣さん
 ■ 演題 「人の世に熱と光…を！」

人権フェスタのお問い合わせは——
 伊方町税務課人権対策室・伊方町教育委員会生涯
 学習係 TEL 38-0211

【期 日】平成18年2月12日(日)
 9:30～15:30

【会 場】伊方町中央公民館

町民の方々の参加をお待ちしています。

午前の部《9:30～12:00》

- 【催し物】 【会 場】
 ●小、中学生人権作品の展示…… 4階ロビー
 ●子ども映画会…………… 4階大ホール
 『ガラスのうさぎ』 9:30～11:00
 ●人権相談…………… 5階和室

午後の部《13:30～15:30》

- 【会 場】 4階大ホール
 ●中学生人権作文発表
 ●講 演
 演 題『人の世に熱と光…を！』
 講 師 中学校教諭 清原隆宣さん

平成18年度 陶芸教室生募集のお知らせ

粘土をこね、成形、釉かけ…とそれぞれの過程を楽しみながら陶芸に親しんでみませんか。陶芸教室を下記の要領で募集しますのでご希望の方はお申し込みください。

- 開設場所** 地域振興センター4階 民芸品試作実習室
期 間 4月～3月までの第2・4日曜日(原則)
 都合により一部変更もあります。
時 間 Aコース 午前10時から12時
 Bコース 午後1時から3時
会 費 等 ・講師謝金1ヶ月1,000円
 前期(4～9月)と後期(10～3月)の2回に分けて徴収
 ・材料代は実費(500円程度)
 ・光熱水費については当分の間は無料とする。

- 募集人員** 各コース20名、合計40名
 (多数の場合は抽選)
申込方法 電話にて住所・氏名・性別・連絡先をお知らせ下さい。
申 込 先 伊方町中央公民館
 (TEL 38-1020)
申込期限 3月3日(金)「期限厳守」
そ の 他 詳しくは、中央公民館までお問い合わせ下さい。

公民館だより

第38回三崎駅伝競走大会開催

— 三崎公民館 —

1月8日(日)第38回三崎駅伝競走大会が行なわれました。天候が気になりましたが、当日は絶好の駅伝日和となりました。

スタート会場の串公民館には31チームの代表別にオープン参加2区と一区の選手が集まり、開会式が行なわれました。コースは例年どおり串公民館から井野浦集会所を折り返し、総合体育館までの15.6kmで、各チームと



も一本のタスキに思いを込めてゴールを目指しました。表彰式では各団体、個人に表彰状が授与されました。また、長年にわたって連続出場を果たした方にも賞状及び記念品が教育長より授与されました。結果は次のとおりです。

中学男子の部	1位	三崎中3年A	56分15秒
中学女子の部	1位	三崎中バレーA	1時間11分38秒
高校男子の部	1位	三崎高校サッカー部	56分18秒
一般男子の部	1位	6年生選抜チーム	1時間4分9秒
一般女子の部	1位	6年生選抜チーム	1時間13分13秒

中央公民館 壮年講座

伊方町壮年会 新春交歓会

— 中央公民館 —

1月8日、中央公民館において伊方町壮年会を対象とした壮年講座並びに、同会主催の新春交歓会が公民館と壮年会の共催により開催されました。

この催しは、町の中核を担う壮年層を対象とした講座と併せて、壮年会と町長、議長、教育長の町政に関する意見交換会及び親睦会を毎年新春に行っているものです。

今年の講座は、大浜の本立

寺の住職、八島龍晴先生を講師に招き、伊方町にもゆかりのある大連(旧満州国)最後の日本人市長、別宮秀夫さんのことについての講話がありました。また新春交歓会では、年末の寒波による農被害対策、少子高齢化社会への対応策、合併後の財政運営等の質問があり、町理事者及び、議長との活発な意見交換が行われました。



気持ちも新たに!

「新春書き初め大会」

— 瀬戸公民館 —

2006年、新しい年のスタートを飾るべく、恒例の「書き初め大会」が6日(金)、三机・塩成・川之浜・大久の4会場で行われました。まだまだ寒さが身にしみる中、町内の小学生79名が参加、気持ちも新たに真っ白い半紙に向かいま

した。まず書き初めにあたったの注意を受けた後、学年毎に課題に取り組みました。まだ学校での授業がない1・2年生たちも講師の先生の指導を受け、初めて触れる墨の感触を

楽しんでいくようでした。各会場とも約2時間、今年の活躍がみてとれるような集中力で力一杯一筆一筆思いを込めて筆を走らせていました。尚、この日の作品は瀬戸町民センターの1階ロビーに



「新春書き初め大会」入賞者一覧

	1年	2年	3年
金賞	井上雄一郎	井上玲亜	木嶋美桃里
銀賞	岩村豪輝	井上友希	阿部祐馬
銅賞	西川真悟	阿部圭志	菅原龍之
	4年	5年	6年
金賞	阿部治貴	山本穂乃香	木嶋一誠
銀賞	井上真吏奈	坂内千美	田中航介
銅賞	佐々木泰洲	坂本ちあき	是澤飛鳥

展示していますので、子供たちの力溢れる作品を是非ご覧下さい。

人権ポスター作品で特選受賞

三崎小学校一年の木村優希さんが、県教育委員会主催の人権尊重の意識を高めるためのポスター作品募集において特選に選ばれました。

この作品募集は、児童生徒の人権尊重の意識を高め、地域社会の啓発を図ることを目的に募集されたもので、一次審査を通過した県下、百八十点の入選作品の内、小学校低学年の部で見事、特選を受賞したものです。



三崎小学校 木村 優希

一ねんきょうしつに、ザリガニがいます。おひるやすみに、じゅんばんに水かえやえさをしています。ザリガニのすみかは、おもいです。水かえのときは、ふたりに力をあわせてもつています。

ザリガニが、一ねんせいなの

かまいましたとき、ながめたり、もったり大さわぎでした。なまへは、スピードちゃんとはさみくんです。

ある日、スピードちゃんが水をぬらしてもうごきませんでした。せっかく一ねんせいなのかなまだったのにしんでしまつてかなしかったです。さわりすぎたのかな。いろいろみんなでかんがえました。さわりすぎないようにやさしくみんなでお世話して、のこったはさみくんをだいにしようときめました。だいにないのちだからです。ながく、ザリガニとみんなでないおもいでをつくりたいとおもつて、ポスターをつくりました。



人権学習会並びに

なかよし運動会を開催

— 伊方町婦人会 —

1月7日(土)、婦人会役員約50名が参加し、「人権学習会並びになかよし運動会」が開催されました。

午前中は、生涯学習課林係長の指導により、人権同和教育について学習会を行いました。

まず歴史に関する設問に対し、小グループ毎に考えをまとめ、

後で答え合わせをしました。

知っているようで知らないことがたくさんあり、認識を新たに、地道に学習を続けることの大切さを感じました。

午後からは、なかよし運動会を行い、時節柄、寒さで運動不足になりがちですが、からだをほぐす良い機会となりました。



こども文化体験劇場

平成17年度えひめこども文化体験劇場が1月17日(火)、三崎地域、18日(水)、伊方地域の小学生を対象に開催されました。

これは、次代を担う子供たちに優れた芸術にふれることにより豊かな感性を育成することを目的に、日本児童演劇協会、愛媛県、伊方町教育委員会が主催したものです。

当日は、劇団如月舎による「のらねこハイジ」という演劇を鑑賞しました。

一心にえいようをノー！
人はからだのはたらきをよくするために、えいようのあるものをとります。
心をゆたかに美しくするために、本を読んだり、音楽をきいたり、絵を見たり、演劇を楽しんだりします。
みなさんもいろいろな機会をと

中に引きづり込まれ、劇団員の「躍動感あふれるステージ」を大いに堪能していました。

おして心にえいようを与えてみてはいかがですか。





一学期の学校行事から

三机小学校

十二月十一日(日曜日)家族参観日として、「わくわく発表会」を行いました。

「わくわく発表会」は、主に生活科や総合的な学習の時間で子どもたちが学習したり研究したりしたことの発表の場として毎年行っています。

今年の発表内容は、
一年生 「秋はつけん」
二・三年生 「おじぞう」
四年生 「手話と点字」
五年生 「環境」
六年生 「戦争と個人」でした。



それぞれの学級が発表を工夫し、その発表を保護者にも熱心に聞いていただきました。実施後の保護者へ

のアンケート結果でも、「自分たちの時代とはちがう勉強の仕方に驚く。いろいろな力をつけてほしい。」という感想や意見がありました。

保護者の発表会に寄せる期待の大きさを感じました。

その後、「健全な子どもづくりには、バランスのとれた食生活が不可欠」という考えから、手軽に効率よく栄養摂取できる朝食の作り方を実習しました。



三机小学校では、今後も保護者が活動に参加できるような参観日を企画し、家庭と学校が具体的に行動で連携しながら、たくましい子どもを育てていきたいと思っています。

人権週間の取組

伊方小学校

十二月八日第二十四回人権シンポジウムを行いました。「気づき、立場に立つて、行動を起こそう」のテーマの下、創作人権劇をもとに四年生以上の参加児童がそれぞれ二つずつ計六つのグループに分かれ話し合いました。



人権劇は、今流行のギャグをすらすらにかかると受けた主人公

と取り巻く学級の子どものちとの人間模様、主人公の葛藤などを取り上げたものです。最後には、主人公がはつきりと自分の気持ちを伝えることで学級のみならず変わります。いじめをする側、される側、また助けようとする側、さらに傍観者と四つの角度から考えることができるものになりました。思春期をむかえた子どもは本心を隠して行動してしまい、かえって自己嫌悪におちいることはよくみられることであり、子どもたちにとって、この人権劇の内容は理解しやすいものでした。話し合いで

は積極的な発言がみられ、特に、こ



他に人間関係づくりの一環として、縦割り班での仲良し給食と遊びを行いました。子どもたちはふれあいのひとときを十分楽しみました。

「自分の思いを語ろう」

二名津小学校

で表してくれました。

12月4日、小春日和の日曜日に学芸会を開きました。児童の家族はもとより、大勢の御来客がありました。テーマは自分の思いを語ろうです。

一年生は、一人一人がアイウエオリババの主役でした。始めのあいさつの後、ステージいっぱい動き回り、アラビアンナイトの世界の中に入り、かっこよく演じました。

3、4、5年生は、鬼退治をして帰った後の桃太郎の話を想像したものです。いくらみんなが喜ぶことをしても、心の持ち方次第では、欲張にもなるということを、迫真の演技

6年生は、怖い幽霊の話を自分たちの想像力を働かせ、話し合いを重ねながら作り上げたオリジナルの劇でした。

一人一人が、心の内の感性を言葉や動作で表現しようと、一生懸命になっている姿を見て、大変心が熱くなりました。

本校の児童は、派手な動作や明快な言葉遣いは得意ではありません。しかし、2年生の三人地蔵では、怒り、泣き、笑いを通して、「感謝の心を大切にしなければならぬ。嘘や



ごまかしは許されない。相手の身になって考えた行動をとろう。」ということ、見る人の心に訴えるように、演ずることができました。

伊方スポーツセンターだより



冬の温水プールにきてみませんか？

●理由その1…冬のプールは、空いている。

- 1) 利用者が夏場の3分の1です。
- 2) 12時と20時が、最も空いています。

●理由その2…冬のプールは、暖かい

- 1) 水温32℃で非常に暖かく感じます。
- 2) 室温35℃で温室になってます。

●理由その3…冬のプールは、きれい。

- 1) 塩素が平均0.8mg/lで、必ず基準値をクリア
- 2) 水質が中性で身体に優しいです。
- 3) 濁度が0.5度以下で25m先の壁が見えます。

●理由その4…冬は外が寒く、運動不足になりやすい。

- 1) 寒いと身体が脂肪を蓄えようと自然に働きます。
- 2) 寒いと健康の基本である有酸素運動(ウォーキング etc)が不足しがちになるので、1日に摂取する過剰なカロリーを消費できない(約300kcal)
- 3) 1日の歩数を測ってみてください。激減してませんか？

●理由その5…プールは歩いて泳いでも体にいいことがあります。

- 1) 脂肪燃焼、腰痛、肩こり、膝痛、疲労回復に効果あり

水中ウォーキング教室を7日(火)

バランスボール教室を2日(木)に実施いたします。

- 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡下さい。
伊方町役場(生涯学習課) ☎ 38-2661
伊方スポーツセンター ☎ 38-1100
☎ 38-0776



ライフアップ講座のご案内

ピラティス体験(第4回)

～正しい腹筋運動と優れた身体感覚を養う、効果的な腹筋トレーニング。運動不足解消と、均整のとれた身体づくりのために大人気のストレッチ筋トレです～

■日 時 平成18年2月19日(日)13:30～15:00

■場 所 伊方町庁舎3F会議室

■講 師 スタジオ hana インストラクター
萬井華子さん

■持参物 マットまたはバスタオル

※ 伊方町職員組合女性部との共催事業

もっと快適に！私のインテリア(第5回)

～くらしの中のインテリアを楽しんでみましょう。
自分を素敵に見せる色やイメージを見つけましょう。
そして家族も一緒に楽しめるインテリア小物の飾り方を学びます～

■日 時 平成18年3月4日(土)13:30～15:00

■場 所 伊方町中央公民館3F第1研修室

■講 師 松山東雲短期大学非常勤講師 東 優さん

申込要領

1. 募集人員 18歳以上の男女 各20名程度
2. 申込締切日 第4回目…平成18年2月14日(火)
第5回目…平成18年2月24日(金)
3. 申込方法 住所・氏名・電話番号を電話またはFAXで生涯学習課へ
TEL 38-0211・FAX 38-1179
4. 受講料 無料

伝統・技術の伝承

「伊方杜氏資料館」へきなはいや

昨年の8月1日よりオープンしている伊方町生涯学習センターの4階に杜氏資料館があります。

伊方杜氏は、人望厚い人柄とともに研鑽を積み、伝統的な技術が無形文化財的にまで高め、醸造界に大きな功績を残しました。

伊方杜氏の貴重な資料を

展示し、その功績や歴史を町内外へ紹介すると共に、後世へ語り継ぐため整備したものです。造り酒屋をたどった玄関をくぐると酒造工程順に分かりやすく展示しています。また、13人の伊方杜氏の皆さんを映像インタビューなどで紹介しています。



(財)えひめ地域政策研究センター職員の熱心な取材

町見郷土館企画展

「佐田家の食卓」

- ちょっと昔の半島食べ物事情 -

2月25日(土)~5月7日(日)

イモや麦が中心だったあの頃の食生活は…?ただいま鋭意準備中です。乞うご期待!



◆ 今月のきょうどかん ◆

2006年 2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

■—おやすみ

休館日は都合により、変更する場合があります。

TEL・FAX 39-02241
(不在の場合)
38-2661 生涯学習課
開館時間 9:30~16:30
休館 月ほか

文化財年始大そうじ

1月9日、郷土館サポーター「佐田岬みつけ隊」で、九町奥にある梵田の石塔を掃除しました。町の文化財は町の私たちが守らなくっちゃ♪



● 梵田 町指定文化財(史跡)

「得能主膳ゆかりの地」のひとつ

得能主膳の墓と伝えられていますが、形態から鎌倉中期の建立と考えられています。

町見郷土館から

大佐田の栗島さま

今回は大佐田地区の少し珍しい神さまをご紹介します。

大佐田の氏神さまは天満神社。その向って左側には、「栗島神社」が建っています。

栗島さまは「栗島大明神」とも呼ばれ、婦人の病に霊験あらたかな神さまだそうです。



①



②

大佐田の栗島神社(上)と、中に掛けられている髪の毛など(左)

(2006年1月撮影)

ずっと昔、旧暦1月3日のお祭りには、三崎の各地から多くの女性がお参りに訪れ、近くの道路にまで行列が出来るほどに賑わったといわれています。栗島さまをお参りする時の独特な唱え言などもあったようです。現在も栗島神社の拝殿の中には、女性が願掛けや御札に奉納した髪の毛の束や、櫛・簪・糸巻き・ツイモの干

したものを芯にした手作りの手まり等々がいくつも掲げられています。人形などを奉納することもあったようです。なお安産祈願は、同じ大佐田でも道路脇にある観音さまにお参りするそうです。観音さまは子供を抱えたお姿をしているので「子安観音」とも呼ばれており、毎年お盆の8月16日(以前は17日)のお祭りには、皆で踊りを踊るのだそうです。

■取材協力

大佐田地区のみなさん

佐田岬民俗ノート⑨



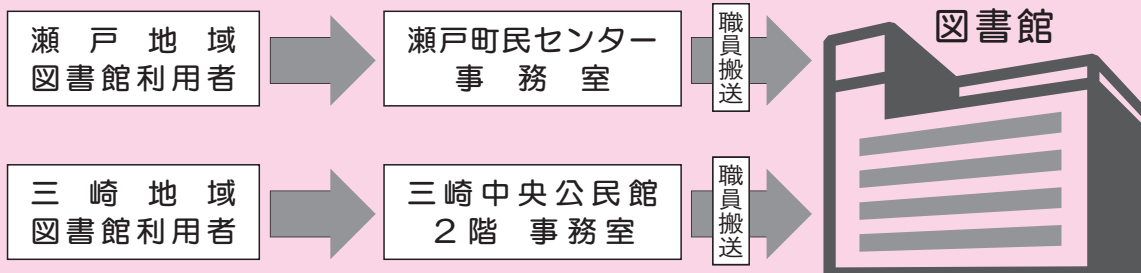
伊方町立図書館



瀬戸町民センターと三崎公民館にて返却サービス始めました!!

瀬戸・三崎地域の町民の皆さんの図書館利用の充実をはかるためこのたび瀬戸町民センターと三崎中央公民館にて本の返却サービスを始めました。返却された本は、町民センター・公民館職員が図書館まで搬送します。

三崎・瀬戸地域からの
返却のながれ



※ CD・DVD、団体貸出は直接図書館まで持参ください。※ 受付時間：9:00～17:00まで

今月の新刊

- パリよ、こんにちは／林真理子 ほか著
- 天女湯おれん／諸田玲子 著
- わたしの普段着／吉村 昭 著
- あと2年!／江坂 彰 著
- いびき睡眠時無呼吸症を治す／来生 哲 著
- 検証! H調理器と電磁波被害／懸樋哲夫 著
- 話し方のマナーとコツ／杉山美奈子 著
- プーさんの鼻／俵 万智 著
- わがままいもと／ねじめ正一 文／村上康成 絵
- ダーウィンの迷路／アンナ・ニルセン 作
枝廣淳子、枝廣あかり 訳 ほか



利用案内

- 開館日／火曜日～日曜日
午前9時30分～午後6時
- 休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日・年末図書整理日・年末年始(12月29日から1月3日)・蔵書点検日

伊方町立図書館

伊方町湊浦1992番地
伊方町生涯学習センター2階
TEL(0894)38-0607 FAX (0894)38-0617

2月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

□…休館日



ピップスおはなし会のごあんない

2月のピップスおはなし会(図書館ボランティア)を
2月12日・18日・25日に予定しています。

- ◆じかん：ごご 2時から
- ◆ばしょ：図書館 おはなしコーナー
- ◆たいしょう：未就学児童・小学生低学年
- ◆ていいん：30名程度
- ◆ないよう：えほんのよみ
きかせなど





人権学習シリーズ 194

“きょうはきのうに”

三崎中学校教諭 阿部由紀子

最近のことだが、テレビを見ていたらある実験を行っていた。それは何かというと「猫はどのくらいまでの魚を持ち運ぶことができるのか」というものであった。そして、鰯から鯛までの数種類までの魚を野良猫がよく通る道に置き、持ち運ぶ姿を実況していくものであった。何気なく見ていたのだが、どの魚も立派なもので今の日本だからこんなことができるものだなと感じたのは、私一人ではないと思う。しかし、アメリカでもこのようなことが起こっている。子どもが体重百キロを超えたのは、マクドナルドのハンバーガーのせいだとマクドナルド社を相手に損害賠償を求める代表訴訟が起こされたことを新聞各社が報道していた。今の世の中、飽食の時代とはいえ今、自分がここに生きていることに感謝の気持ちが薄まってきているのではないかと思う。

新年を迎えたときに、この人の詩が思い浮かんだ。「新年は、死んだ人をしのぶためにある、心の優しいものが先に死ぬのはなぜか、おのれだけが生き残っているのはなぜかと問うためだ、でなければ、どうして朝から酒を飲んでいられる？」(中桐雅夫)新年とは今一度、故人に目を向けて偲ぶときであると問うている。新聞の墓碑銘には、たくさんのお名前が並ぶ。その人ならではの軌跡を残して。世界を見れば、今だに爆弾や銃の下に倒れた人、飢えや病気で命を失った子供たちのなんと多いことか。拉致で死亡とされた人達も。今年の総合学習の時間に、「国際理解」班の子供たちは発表した。“今、世界に井戸がなく水に困っている人たちや親がなく自分たちでゴミを拾いながら生活している子ども達がいいます。私たちが今できることはないかと考えました。”そして、書き

損じのはがき収集、文化祭などを通じての募金などを行っていった。

メディアや人の力は、大きいとつくづく考えさせられた例がもう一つある。ニューヨークのカリンさんは、買い物をしすぎて二万ドルの借金を背負うことになった。そこで困った彼女は、インターネットのホームページを立ちあげる。「カリンを救え」と題し、「二万人が一ドルずつだしてくれれば」と訴えた。すると、4ヶ月で1万3千ドルも集まったのである。例えば、アメリカ人が一人一ドルずつ出せば、二億八千万ドルで230億円。日本人が1ドルずつ出すと1億2千万ドル余り、150億円以上だ。確か、昨年WHO機構が行った白いゴム製のプレスレット。有名な文化人や芸能人をコマーシャルに取り入れることで、相当の売れ行きになったそうだ。5年前の調べでは、アフリカ難民千二百万人への援助金は一人一日13セント(約16円)だそうだ。日米の一人一ドルは、千二百万難民のざっと250日分である。

詩人の言葉は、後半にこう続く。「人をしのんでいると、独り言が独り言でなくなる、きょうはきのうに、きのうはあすになる、どんな小さなものでも、眼の前のものを愛したくなる、でなければ、どうしてこの一年を生きてゆける？」喪失や憤り、理不尽といった苦いものをのみ込み、言葉は生の方へ反転する。小さなもの、眼前のものに向けた愛やいたわり。きょうはきのうに。日常の表層は何気なく過ぎ去っていく。けれど、底には、さまざまな流れや濁りもある。せちがない世の中だからこそそんな目配りも忘れずに、きのう、きょうをあすにつなげていくことが大切なのではないかと感じた。

2月

	4日 生放送・VTR放送☆	11日 生放送☆	18日 VTR放送	25日 生放送☆
11:00	Let's open the door! ②9	Let's open the door! ③0	Let's open the door! ③1	Let's open the door! ③2
11:05	子ども放送局 ニュース にじいろ玉手箱	ゆめ 夢スタジオ ぼくらはみんなで 生きている	子どもとしょかん テーマ おとぎばなし	チャレンジ教室 手芸(手遊び) あなたはステキ!
11:15	「おしえてニュース」 「なんでも やってみよう」 コンピューターに命を吹き込め!	～カイチュウ博士 藤田紘一郎さん～	わくわくどくしょ ランド わたしのお話 たのしいよ	手品で コミュニケーション
11:30	～自分のおもちゃづくり～ 「子ども特派員報告」 「受信会場だより」 など。	さん、ちよつとちがう意見をもっているよ。寄生虫ってどんな存在か、考えてみよう。	THE MAKING カップめんが できるまで	手品の楽しみは、人を おどろかせることだ けじゃない! トランプ を使って、みんなにステキなメッセージを伝えよう。
11:45	全国の体験活動情報が ぎゅっしり。			講師 東山善迪さん
	(11:45)	(11:45)	(11:45)	(12:00)
	さい ほう ほう 再放送	さい ほう ほう 再放送	さい ほう ほう 再放送	さい ほう ほう 再放送
	4日 13:30～ 8日 15:30～	11日 13:30～ 15日 15:30～	18日 13:30～ 22日 15:30～	25日 13:30～ 3月1日 15:30～

生涯学習センターでは、三階児童遊館において、子ども放送局を放映しています。楽しい番組が盛りたくさん。皆さんの参加をお待ちしています。

子ども放送局



みんな来て! 見て! 参加してね!

報 文 芸

俳 句

町見野の花句会

豪雪に地震なきよう神仏に
松田紋司朗
日々憂う豪雪止まぬ越後路を
上口久志
初春や郷里仰ぐ讃岐富士
上田文男
百年の雛一列に日向ぼこ
浜田保仁
卒寿の春嫁にたくせし厨事
山口朝子
吹雪く日も山家へ向う郵便夫
古田かずあ
うぶすさのみやしろ清掃木の実
降る 古田シヲ
生かされし命傘寿の初鏡
岩見愛子
預かりし犬に曳かれつ青き踏む
菊池あつ子
湯豆腐や何事も無く今日も暮
大沢昭子
新札を使いはじめし春財布
林 そで子
流水を砕きて進む漢たち
川縁秀子

瀬戸句会

悴せは孫とたわむる明けの春
山田美恵子
恙なく生きる悴せ明けの春
岩井ふみえ
健やかな喜寿を感謝の初参り
得能カツミ
待望の孫がふえます春うらら
得能悦子
髪染めて六十路の一步年明く
西山美津子
寄方なき迂回されしか宝船
城岡正治
子や孫の賀状にこもる温さか
丸川一彦
雲間に寒の三日月顔出せり
長尾金満
初太鼓孫に打たせて音つむぐ
佐々木サチ子
舟だまり注連飾りして舳い船
佐々木忠雄
冬支度している母の知恵かり
浅井ミドリ
風花や墓に向き合う影一つ
大星幸子
雪降りてなずなのおひたしほ
ろ苦く 吉見福子
初春や寿くかのよう風車鳴る
井上幸子
割れし海元の平らになれよ冬
小関秀次
木枯らしも多き岬端冬さかん
本田光男
冬ざれて日暮れ淋しい犬の声
高茂弘子

さざなみ句会

佐田岬特産展の初荷来る
岡本 登
寒中に餓えを知らない世とな
りぬ 岡本あつ子
新春のサワラの青き輝けり
加藤恵子
健啖の母頼もしや今朝の春
佐々木煦
柔らかな日差しの満ちるお元
日 佐々木礼子
寒空の見事な夕日画のように
八代征雄
おゝ寒い笑いじょうずの人が
くる 結城励子
初電話孫十人がいるわたし
中谷はる子
みかん採る徹夜の妻よあゝつま
よ 中谷段々子
平和尊し地球一輪の大旦
中谷段々子
島遠く遠きのまゝに初詣
宮本マサ子
舞上る千大根のちりちりに
松本光子
雲間より白い夕月枯木立
宮部タミエ
穢多字認識る吹雪夜や謝せ続
べて 今川キクエ
蒨粥や一杯・一杯・また一杯
大谷 勉
老の手が白息かけてガラス拭
く 阿部八重
年新たさらに太りし寺の巨楠
中村 豊

今日も雪負けてはならぬ仕事
行く 石田 満
梅見月郷愁おさえ春を待つ
井上 靖
春の風沖の釣り船並べけり
竹上正也
雪の中そろそろかなと春探し
大成由佳
晩冬のまだ春遠い鉛空
川口篤夫
犬は何処足跡だけが銀世界
神原貞規
子供らの遊ぶ姿に憂いなし
安房伸己
粉雪に期待がふくらむ銀世界
渡邊由紀
初雪や親子の手になる雪だる
ま 山内 徹
野菊咲く芋背負た坂忘れるな
今川又壹
服着せて布団も敷きある蜜柑
葉月 渚
あの声や天に交番初鵲
大川昇太
新春や野良着もどこかシャレ
て見え 井上幸子
寒月光海に広がる船の影
山内須磨子
岬の海初茜して神々し
山内良子
笹鳴の段畑の径のぼりけり
吉上マツエ
ビデオ見る我が老い姿残る雪
高茂弘子
拍手に願いを込める初詣
小西紀代子

川 柳

伊方町川柳会

段畑に冬のすみれを見て八十
路 谷口ハナエ
ふたりして眼のかすみむつみ月
中谷はる子
明暗のニュースは知らずやぶ
つばき 木下一昭
開墾し金のなる木を植えたけ
ど 上田文男
今年こそ少し多めのおさいせ
ん 矢野佐一郎
高潮の対策先ずは水門から
池田君子
群れ鴉中に音痴も居るみたい
篠川佳津子
もう年齢よ最後最後とクラス
会 菊池真志江
段畑で鍛えた足腰弱らない
木戸恵津子
売店でボトルの水がデカイ顔
松坂正子
願い事重荷で神様肩がこり
門田千枝
年金は減り増税となる老後
西田多恵子
密入国してはびこった黄たんぽ
ぼ 梶谷芳泉

